

新築検査 施工状況検査日報

令和5年3月21日～23日



(株)日本建築検査研究所

報告書作成:一級建築士 佐藤 並人

物件名 : 梅田町賃貸集合住宅新築工事

検査の種類 : 1階床スラブ配筋検査:CD棟

検査箇所 : 1階床スラブ、バルコニー・廊下(CS)の各配筋・定着状況、他

現場立会い者 : 植木組・同時建設特定建設工事共同体、針生承一建築研究所、他

確認・指摘事項

<確認事項>

- 1階床スラブ(S1、S3)の配筋状況。
- バルコニー部(CS1、CS3)の配筋状況。
- 外部廊下部(S3、CS2、CS2A)の配筋状況。
- 雑壁(W12、W15)の配筋状況。
- バルコニー手すり壁の配筋・型枠の施工状況。
- その他

<指摘事項>

- バルコニー端部の立上がり部分(内側)の鉄筋かぶり厚さに不足が生じる箇所があることを指摘。
- 段差スラブ部(S3)では、補強筋の設置位置が誤っていることなどを指摘。
- スリーブ貫通部廻りには、鉄筋かぶり厚さが不足する箇所が存在していることを指摘。
- CY3通りの住戸間部分の上端筋の定着寸法が計画(施工図)の寸法(L2:D13×35=455mm)に不足する箇所があることを指摘。
- 防湿シートには、部分的に破けなどが生じている箇所があることを指摘。
- 埋め戻し部の基礎梁打継部(シーリング打継ぎ目地部との取り合い部)には、止水剤(クニシール)の施工範囲が不足している箇所があることを指摘。
- 外部廊下(CS2)では、配力筋間の空き寸法(25mm以上)が不足していることを指摘。
- 基礎梁打継部には、目地棒の設置忘れ箇所があることを指摘。
- 段差スラブ部では、浮型枠下部に鉄筋かぶり厚さが確保されていない箇所があることを指摘。
- 手すり壁の横筋部分で鉄筋かぶり厚さが確保されていない箇所があることを指摘。
- 雑壁W12の一部では、交差部補強筋の下部に鉄筋かぶり厚さが不足している箇所があることを指摘。
- 外壁面の立上がり部では、部分的に鉄筋かぶり厚さが不足している箇所があることを指摘。

対応

- 今回指摘事項1.～12.に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。

備考等

- 次回はAB棟1階床スラブ、及び、CD棟1階壁の配筋検査とし、4/4～4/6を予定とする。